

### 【今週の注目疾患】

#### インフルエンザ

2016年11週の県全体の定点当たり報告数は、10週の27.78から減少し20.36となった。減少傾向にあるものの報告数が多い状態が継続しており、注意が必要である。

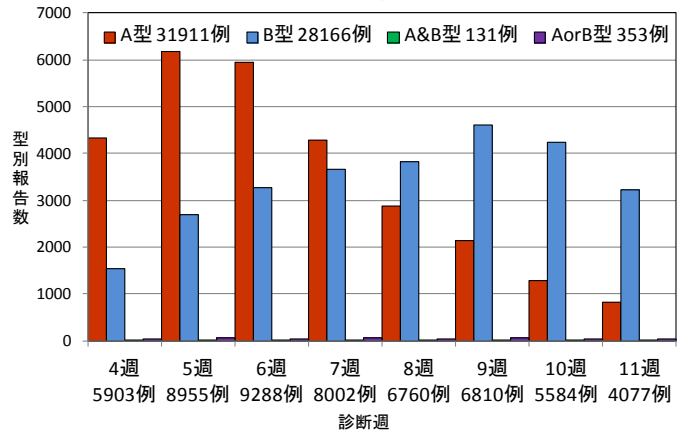
保健所別では、16保健所全ての保健所管内で減少し、松戸(27.46)、印旛(26.33)、君津(22.00)、千葉市(21.41)、船橋市(21.35)、山武(21.13)、海匝(20.86)、夷隅(20.40)で多かった。

#### 2015/16シーズン全体の年齢群別報告

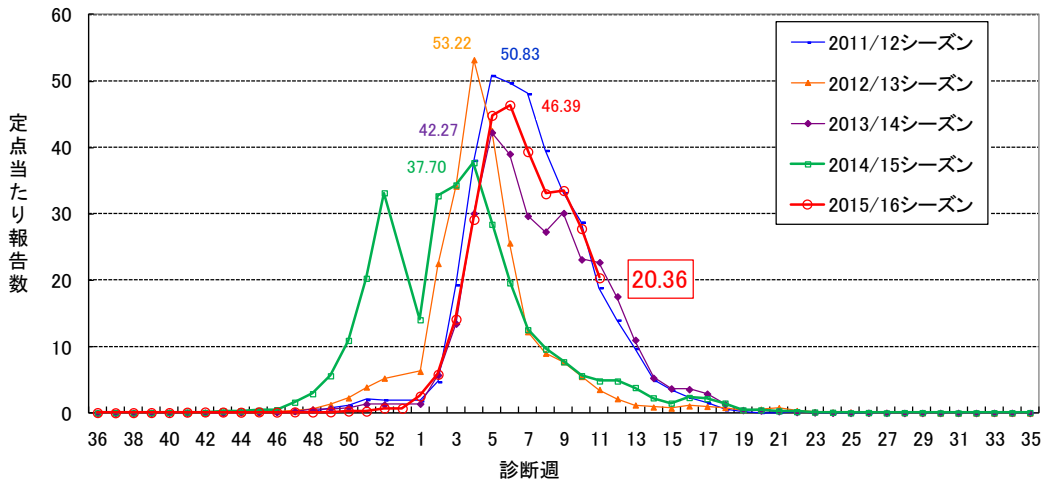
割合は、5～9歳(34.8%)、0～4歳(17.7%)、10～14歳(17.1%)が多い。

2016年11週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、4,077例中A型824例(20.2%)、B型3,219例(79.0%)、A and B型8例(0.2%)、A or B型26例(0.6%)であった。2015/16シーズン合計では、60,561例中A型31,911例(52.7%)、B型28,166例(46.5%)、A and B型131例(0.2%)、A or B型353例(0.6%)であった。

2015/16シーズン千葉県におけるインフルエンザ  
型別迅速診断報告数



千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



#### インフルエンザ

